

経営理念

より安全で快適な社会作りに全力で貢献する
技術を磨き、誠実にものづくりを行う
全社員が相互に物心両面での幸せを追求する



To Our Shareholders 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の属する建設業界におきましては、国土強靱化計画や災害復旧関連・減災対策への予算執行により公共投資は堅調に推移いたしました。また、民間投資は、製造業を中心とした改装・改修を含む設備投資の増加が見られ、底堅く推移しています。しかしながら、慢性的な人材不足や建設従事者の高齢化問題及び常態化する長時間労働の解消、脱炭素化へ向けた新技術開発等、諸問題への対応が迫られており、引き続き注視が必要な状況となっております。

このような経営環境のなか当社は、多様化が進む現場のニーズを的確に捉えた新製品の開発や、お客様からの声を基にした既存製品の改良など、使う人の目線に立った製品を提供するとともに、適正な利益水準を確保するため、必要在庫量の随時見極めや効率的な生産体制の構築による経費削減を実施するとともに、原材料をはじめとする製造コストの上昇を反映した販売価格の見直しを進めてまいりました。また、インフラ整備需要がこれまでの新規設置から既存設備の維持補修へとシフトしていくなかで、インフラ設備の点検分野・補修分野の拡大強化に取り組み、快適な社会づくりに更なる貢献を続けてまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高52億2千4百万円（前期比3.6%減）となりました。利益面では、営業利益1億4千7百万円（前期比39.1%減）、経常利益1億7千万円（前期比31.7%減）、当期純利益は1億1千万円（前期比21.3%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年9月

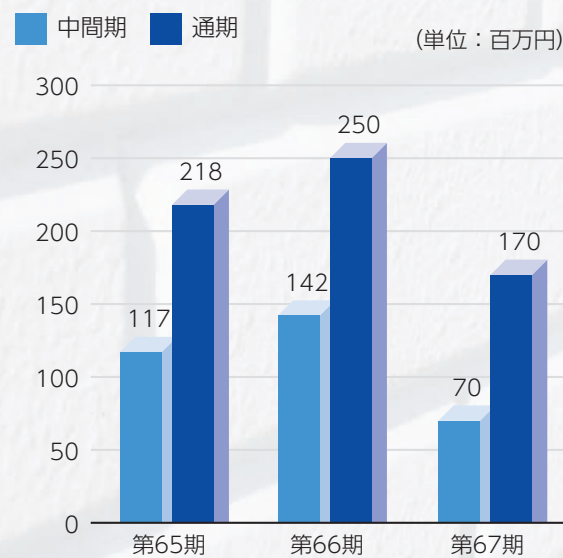
株式会社武井工業所
代表取締役 武井 厚

第67期財務ハイライト

売上高



経常利益



総資産



貸借対照表

(単位：千円)

科目	第66期 2021年6月30日	第67期 2022年6月30日
流動資産	1,917,668	2,136,587
固定資産	2,466,215	2,556,022
資産合計	4,383,883	4,692,609
流動負債	1,811,421	1,933,237
固定負債	642,904	731,448
負債合計	2,454,325	2,664,685
純資産合計	1,929,557	2,027,924
負債・純資産合計	4,383,883	4,692,609

Point

当期のポイント

当期は、建設資材価格の高止まりや慢性的な人手不足に起因する建設コストの上昇とそれに伴う工事の中断や施工延長の減少など計画自体の見直しが行われたことと併せ、前期集中的に行われた河川災害復旧工事が一巡したことにより公共工事向け製品の出荷量が減少しました。一方、民間工事については、自社オリジナル製品を中心とした出荷が好調に推移し、カクセールやセパロックなど工事の省力化に焦点を当てて開発した製品がシェアを伸ばすとともに、物件に使用される資材を仕入品も含めて一括で受注する活動を継続的に行ったことにより前期とほぼ同等の売上を確保しました。

その結果、自社製品売上は前期比6.0%減の30億17百万円、仕入商品売上は前期比0.2%減の22億6百万円となりました。

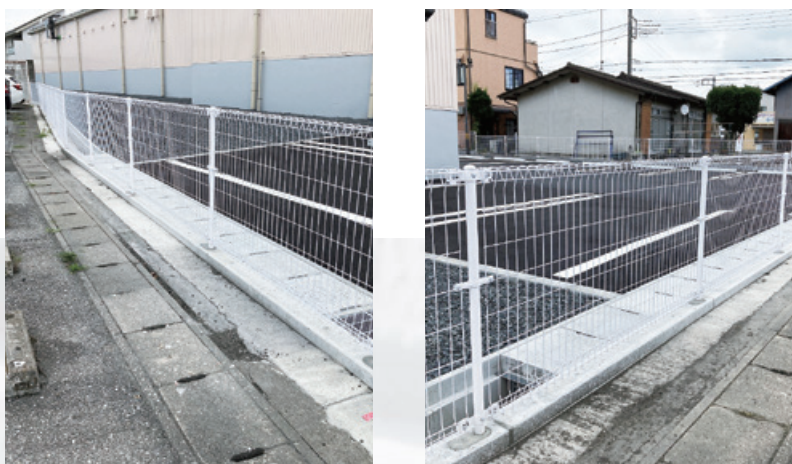
利益については、前述の出荷量減少に加えて、高騰し続ける原材料価格のスピードに製品価格への転嫁が追い付かず利益水準が低下したことから、当期純利益は1億10百万円となりました。前期比21.3%増となったものの、前期は減損損失(特別損失)77百万円を計上していたため、これを考慮すると利益幅が減少する結果となりました。

今後も引き続き売価の適正化を図るとともに、自社オリジナル製品の開発や経費削減などを推進し、利益向上を目指していきます。

トピックス

製品

新製品が続々登場！ セパロックが大好評です



2022年6月期の中間株主通信でご紹介した新製品「セパロック」がご好評をいただいております。製品開発の後のPRでは、施工業者様からは“こんなのが欲しかった”と評価していただきましたが、実際にご使用いただくと、“想像以上に早くて簡単に施工できる”と次の現場でもリピート注文してくださるお客様が増えています。最近では設計段階で従来工法のフェンス用独立基礎と境界ブロックの併用ではなく、「セパロック」をご採用いただくことも非常に多くなってきました。

お客様の声から生まれた「セパロック」は、実際に使用していただいているお客様の声を基にさらなる進化を遂げ、端部調整用の製品や新たな条件に対応した新規規格製品などのラインナップを増やし続けています。

私たち武井工業所は現状に満足することなく、お客さまの声を広く取り入れた製品を考え続けることで、現場の問題を解決する新たな製品を開発し、提供していきます。

映えるスポットに採用いただきました



張出歩道「ロードエル」と歩車道付側溝蓋を、茨城の誇る人気観光スポットに採用いただきました。場所はテレビなどでもお馴染みの“那珂湊おさかな市場”がある那珂湊漁港から、くじらの大ちゃんがシンボルの平磯海水浴場を經由し、関東有数の海水浴場“阿字ヶ浦海岸”までを結ぶ県道水戸那珂湊線です。

この通称“大ちゃんロード”と呼ばれる海沿いの道に、今回の工事で歩道と自転車道が新たに設置されました。

夏の晴れた日に広大な太平洋を眺めながらのんびり散歩したり、海風のなかを颯爽と自転車を走らせれば、「ロードエル」によって張り出された歩道のおかげで歩道、自転車道、

車道が明確に区分され、お互いを意識することなく、解放感を味わうことができます。

使用する皆さまの安全に配慮しつつ、景観を損なわない当社製品の魅力を発揮した好事例となっています。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

インフラ長寿命化事業

今回ご紹介するのは東成井跨線橋のコンクリート調査業務です。

茨城県石岡市(一般国道355号線)に位置するこの橋梁は、石岡市の工業団地に続く道路に架かり交通量も多く、朝夕の渋滞を緩和するための四車線化工事に伴い新設工事が行われています。

今回の業務では、

- 1.ボス型枠を使用した微破壊による供試体採取(ボス試験)
 - 2.シュミットハンマーによる圧縮強度推定調査
 - 3.調査機材を用いた非破壊による配筋探査
- の3つを行い、構造物の安全性を調査しました。

「ボス試験」とはコンクリート構造物の内部を損傷することなく容易に供試体の採取ができる試験方法です。通常行われるコア強度試験(既設構造物のコンクリートの一部を円柱状にくり抜いて採取する)に比べ、供試体採取後の補修などの問題もなく構造物のコンクリート圧縮試験、耐久試験を実施することができます。

当社では適切な指導を受けながら様々な試験方法の知見を深めるとともに、今後増加が見込まれる調査業務に対する知識を深めていくことで現在行っている橋梁点検業務と併せ非破壊・微破壊等の様々な業務を積極的に取り込んでいきます。



インド進出の進捗状況



コロナ禍で工事遅延していたインド事業ですが、2022年4月に商業生産を開始しました。
現在は側溝と蓋を中心に、1日あたり130トンの生産を実施しております。1路線あたりの施工延長が100kmを超えるような案件のオーダーをいただいております。それらの出荷に向けた在庫の確保を進めています。
大きめに設計されたストックヤードに、これらの製品が整然と並ぶ光景は圧巻です。
今後は1日あたり400トンの生産を目指し、活動してまいります。
インド事業について、引き続きご注目ください。

優良申告法人の表彰を受けました。



2022年6月13日に優良申告法人として土浦税務署長の表敬を受け、表敬状を頂きました。これまでの税務申告対応や正しい納税を行ってきたことが評価されたものと喜んでおります。これを励みとして、今後とも適正な申告・納税を継続してまいります。

SNSにて情報を発信しています。

当社ではSNSを使った情報発信を始めました。
各部署から選ばれた若手社員が、様々な目線から当社の活動について発信をしています。
武井工業所の“今”がわかる内容となっていますので、この機会にぜひご確認・フォローをお願いします。

ホームページ



Facebook



Twitter



インスタグラム



会社概要 [2022年6月30日現在]

商号	株式会社武井工業所
創業	1939年7月
設立	1956年4月
資本金	100,000,000円
発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式の総数	3,542,000株
事業所等	
本社	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
工場	明野工場(茨城県筑西市) 小川工場(茨城県小美玉市) 岩瀬工場(茨城県桜川市) 栃木工場(栃木県下野市)
営業所	東関東営業部水戸営業課(本社内) 東関東営業部つくば営業課(本社内) 東関東営業部鹿行営業課(茨城県小美玉市) 西関東営業部広域営業課(栃木県下野市) 西関東営業部栃木営業課(栃木県下野市)
従業員数	215名(男191名、女24名)

株価の推移

単位株：1,000株

約定日	約定価格(円)	約定数量(株)	約定金額(円)
2022年1月12日	110	15,000	1,650,000
2022年1月12日	116	15,000	1,740,000
2022年3月28日	110	3,000	330,000
2022年3月28日	116	3,000	348,000
2022年5月9日	110	10,000	1,100,000
2022年5月9日	116	10,000	1,160,000
2022年5月23日	110	7,000	770,000
2022年5月23日	116	7,000	812,000
2022年5月24日	110	1,000	110,000
2022年5月24日	116	1,000	116,000

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	1. 毎年6月30日 2. 中間配当を実施する場合は12月31日 3. そのほか、必要あるときはあらかじめ公告して 定めた日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 郵 送 先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

公 告 の 方 法 電子公告 (やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞に掲載して行います)

URL <https://www.takei21.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。